

七宗町公共施設等総合管理計画（概要版）

計画策定の背景

高度経済成長期に建設された公共施設等（建築物とインフラ資産）の老朽化が進み、大規模改修や更新時期を集中的に迎える一方、今後の需要の変化を想定した公共サービスのあり方を見直すこと、老朽施設の更新経費や維持管理費を確保していくことは大きな課題となっていることから、国では国民の安全・安心確保、中長期的維持管理・更新等に係るトータルコストの縮減や予算の平準化を図るとともに、メンテナンス産業の競争力を図ることを目的とし、平成25年11月に「インフラ長寿命化基本計画」を策定しました。

本町においても、公共施設等の状況を把握し、財政負担を軽減・平準化するとともに、適正な配置を実現するために「公共施設等総合管理計画」を平成28年度に策定しました。

計画策定から5か年が経過し、国（各省）のインフラ長寿命化計画が見直されたことも踏まえ、本町を取り巻く社会環境や施設の経年劣化を踏まえた施設マネジメントを効率的・効果的に推進するため、七宗町公共施設等総合管理計画の改訂を実施しました。

計画の位置付け

本計画は、総合計画の下位計画、公共施設等に係る個別施設計画の上位計画として位置づけられ、地方公共団体における「行動計画」に相当し、保有する公共施設等について総合的、計画的な管理の基本方針を示します。

公共施設の保有状況

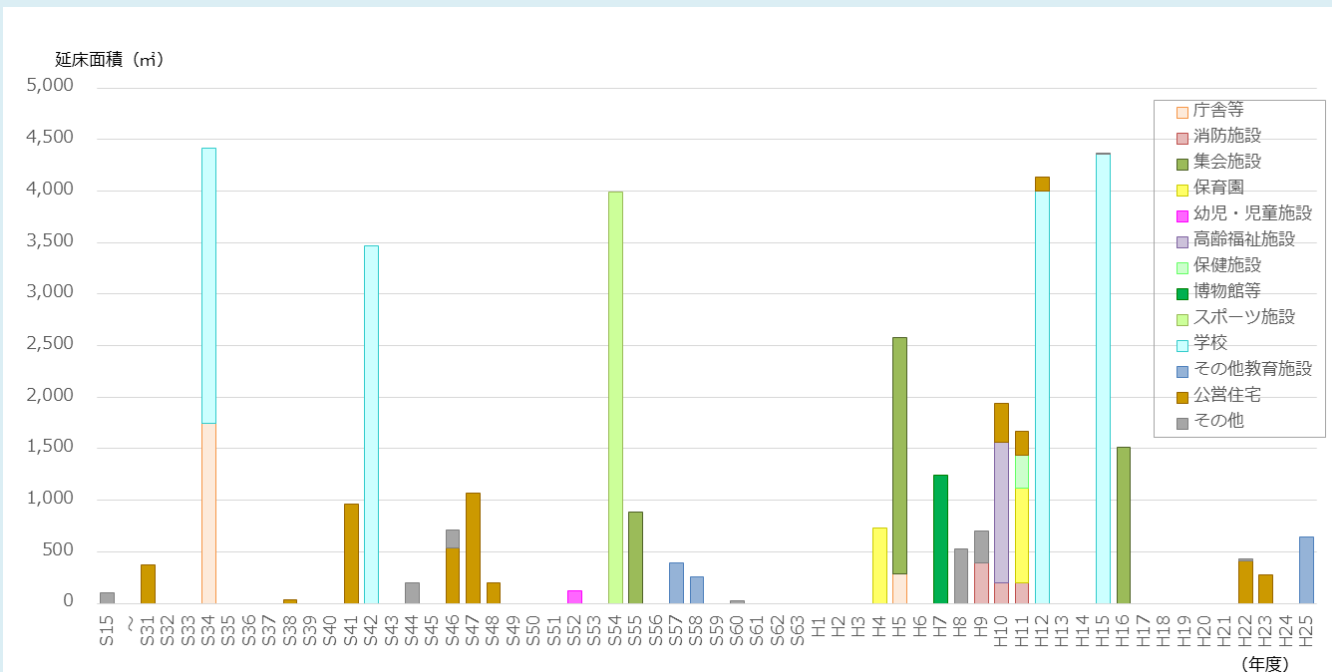
保有する公共施設の総延床面積は約3.8万㎡です。
最も延床面積の多い施設区分（中分類）は学校の約1.4万㎡となります。

（令和2年度現在）

施設区分		延床面積	施設内訳
大分類	中分類		
行政系施設	庁舎等	2,030.00㎡	本庁舎、神洲支所
	消防施設	792.00㎡	七宗町第1コミュニティ消防センター、七宗町第2コミュニティ消防センター、七宗町第3コミュニティ消防センター、七宗町第4コミュニティ消防センター
町民文化系施設	集会施設	4,686.00㎡	神洲コミュニティセンター、木の国七宗コミュニティセンター、七宗町開発センター
子育て支援施設	保育園	1,653.00㎡	第1保育園、第2保育園
	幼児・児童施設	122.00㎡	ちびっ子ハウス
保健・福祉施設	高齢福祉施設	1,369.00㎡	サンホーム七宗
	保健施設	318.00㎡	生きがい健康センター
社会教育系施設	博物館等	1,246.00㎡	日本最古の石博物館
スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	3,990.00㎡	七宗町体育館
学校教育系施設	学校	14,492.00㎡	上麻生小学校、上麻生中学校、神洲小学校、神洲中学校
	その他教育施設	1,293.00㎡	給食センター、上麻生教員住宅、神洲教員住宅
公営住宅	公営住宅	4,610.33㎡	戸刈住宅、檜原住宅、加陽住宅、飯高住宅、コーポみはぎの里、コーポ・ロックタウン、みなし住宅
その他	その他	1,350.30㎡	本郷バス車庫、間見バス車庫、杉洞バス車庫、町営バス駅前待合所東屋、中継局建物、JR上麻生駅前トイレ、旧エスラインヒダ倉庫、本郷住宅、産地形成促進施設（ロックタウンプラザ）
計		37,951.63㎡	

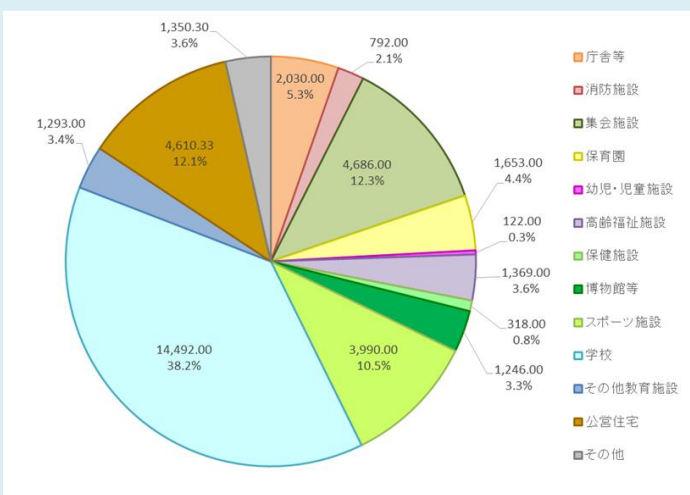
公共施設の年度別整備状況

建設年別の施設区分別延床面積をみると、昭和34年、昭和42年に学校の整備に伴い面積が増加しています。平成12年、平成15年にも学校の整備に伴い特に多くの面積が増加しています。



公共施設の延床面積割合

最も多くの延床面積を有している施設区分が学校の約1.4万㎡となっており全体の約38.2%を占めています。次いで、集会施設の約0.5万㎡が全体の約12.3%を占めています。



インフラ資産の保有状況

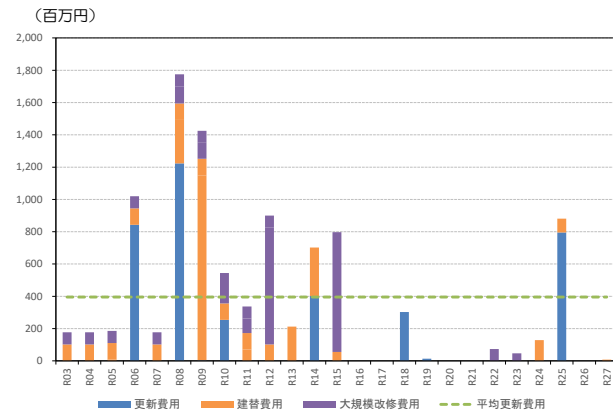
保有するインフラ資産は道路延長約114km、橋りょう163橋、上水道管延長約91km、下水道管延長約29kmになっています。

インフラ資産	区分	数量
道路	実延長	114,502.30m
	道路面積 道路部	528,497.81㎡
橋りょう	橋りょう数	163橋
	橋りょう面積	(15m未満：117橋、15m以上：46橋) 9,707.84㎡
上水道	上水道管延長	91,033.00m
	上水道施設等	9施設
下水道	下水道管延長	28,714.02m
	下水道施設等	10施設
公園	公園数	2箇所
	公園面積	3,991.61㎡

公共施設等の今後 25 年間における更新費用

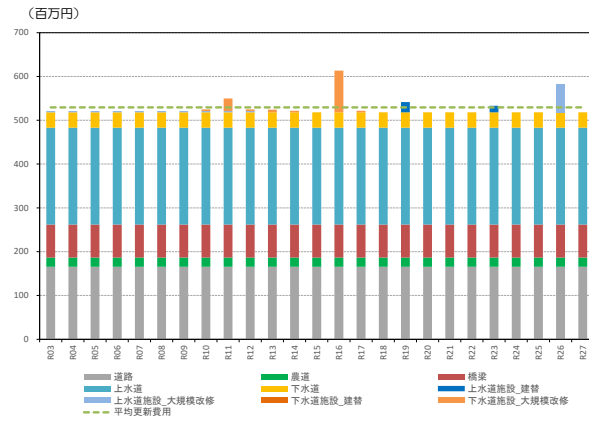
公共施設

今後 25 年間における更新費用の総額は約 98.84 億円となり、1 年あたり約 3.95 億円の費用が必要となります。



インフラ資産

今後 25 年間における更新費用の総額は約 132.32 億円となり、1 年あたり約 5.29 億円の費用が必要となります。



※総務省の更新費用試算ソフトに基づき更新費用を算出

公共施設等に係る課題

公共施設等の将来の更新費用

- ◆公共施設とインフラ資産を合わせた今後 25 年間における更新費用は約 231.16 億円、1 年当たりの更新費用額は約 9.24 億円と推計されます。
- ◆本町の普通建設事業費の 1 年当たりの平均費用（約 3.4 億円）と比較すると、1 年あたり約 5.84 億円の更新費用が不足し、今後 25 年間で約 146 億円が不足する試算となります。

区分	今後25年間における更新費用	1年当たりの更新費用額
公共施設	98.84 億円	3.95 億円
インフラ資産	132.32 億円	5.29 億円
計	231.16 億円	9.24 億円

※小数点以下四捨五入の関係で合計が一致しないことがあります。

人口

- ◆七宗町人口ビジョンより令和 22 年の時点では平成 22 年と比べ 57%まで減少すると推測されています。
- ◆年齢別の割合を見ると、令和 22 年の時点では平成 22 年と比べ年少人口は 40%、生産年齢人口は 45%、老年人口は 79%まで減少すると推測されています。
- ◆このような状況が続いた場合、公共施設の利用ニーズの変化や高齢者増加に伴う扶助費の増加による財政圧迫、若い世代への財政負担の増加等が懸念されます。

財政

- ◆歳入状況は町税は横ばい、地方交付税は増加傾向だが、人口減少により今後減少することが見込まれます。
- ◆生産年齢人口の減少に伴い町税が減少する一方、高齢者人口の増加のため、扶助費の増加が予測されます。
- ◆整備の財源は減少する一方で老朽化は進み、改修・更新時期が集中すると、多大な財政圧迫が想定されます。
- ◆財源不足に陥ると改修や更新ができず、公共サービスの質の低下や利用者への危険性等が懸念されます。

公共施設等に関する基本方針

方針 1 点検・診断等の実施方針

- ◆適切な利用、性能を発揮させるために日常的・定期的な点検・診断が重要
- ◆利用状況、経年変化等、各施設の特性等を考慮した上で、対症的な事後保全ではなく計画的な予防保全の視点から点検・診断を実施
- ◆維持管理等に活用するための、点検・実施結果の適切な収集・蓄積・管理を実施

方針 2 維持管理・修繕・更新等の実施方針

- ◆長期的な視点で優先度をつけ、計画的に改修・更新を実施
- ◆初期投資額及び維持管理運用費を総合的に検証した上で全体にかかる費用に配慮
- ◆計画的点検、診断、修繕など予防保全的な維持管理への転換を推進

方針 3 安全確保の実施方針

- ◆日常的・定期的な点検・診断結果に基づいた劣化状況の把握、災害に備えたソフト・ハード両面からの安全性を確保
- ◆安全の確保にあたっては、「防災拠点であるか」、「多くの利用がある施設であるか」などの視点から、優先度を検討

方針 4 耐震化の実施方針

- ◆平常時の利用者の安全を確保するとともに、災害時には防災拠点、避難所としての耐震性を確保することが必要
- ◆災害時における拠点施設としての機能確保の観点から、必要な耐震改修整備を重要度・優先度に応じ計画的・効果的に推進

方針 5 長寿命化の実施方針

- ◆今後も継続的に利用する施設は、定期点検や修繕による予防保全に努めるとともに、計画的な機能改善による施設の長寿命化を推進

方針 6 統合や廃止の推進方針

- ◆将来の更新費用等の圧縮を図るため、社会情勢の変化、施設需要の変化に応じて質と量を最適化することが必要
- ◆人口推移や財政状況、近隣施設、施設の整備状況・運営状況・利用率に照らして計画を推進

方針 7 総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の構築方針

- ◆公共施設等を良好な状態で保持、将来に引き継ぐため、情報の一元的管理、総合的かつ計画的維持管理実現のための体制を整備
- ◆長寿命化に向け、「PDCA (Plan (計画)、Do (実行)、Check (検証・評価)、Action (見直し・改善)) サイクル」の確立を推進

方針 8 ユニバーサルデザイン化の推進方針

- ◆施設改修や更新の際には、ユニバーサルデザイン化を検討

フォローアップの方針等

1. 公共施設等総合管理計画の推進及びマネジメント

- ◆情報を常に最新に保つため、公有財産台帳による継続した資産管理を行う
- ◆職員一人ひとりが公共施設マネジメントの意義や必要性、本計画の趣旨や内容を理解するため意識の共有化を図る。
- ◆施設の整備・維持管理等には、民間のノウハウを活用し、町民サービスの充実を目指します。

2. 町民への情報提供

- ◆本計画の推進には、町民の理解が重要である。
- ◆そのため、本計画の内容について、町民に理解を得られるよう周知をしていく。